

平成24年1月30日

保護者各位

国風第一幼稚園  
園長 磯野洋子

インフルエンザ等の発生状況について

平素は本園の教育運営にご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

1月30日月曜日のインフルエンザ、その他感染症の発生状況をお知らせします。

○インフルエンザ13名、○水痘(みずぼうそう)9名、○発熱・咳・風邪等その他の感染症15名でした。

クラス別のインフルエンザ及び水痘(みずぼうそう)による欠席者数(人)

年長組	インフルエンザ	水痘	年中組	インフルエンザ	水痘	年少組	インフルエンザ	水痘
うめ	1	0	さくら	1	0	ばら	0	0
すみれ	0	0	きく	5	2	もも	3	1
かんな	1	0	たんぽぽ	2	6	ゆり	0	0

インフルエンザは落ち着いてきましたが、水痘(みずぼうそう)が増えているようです。

ご家庭においても、手洗い・うがい等感染症予防対策、並びに十分な休息・睡眠・食育にもご配慮ください。お子様の体調には十分注意していただき、早めの対応をお願いします。特に、喘息等の特定の疾患をお持ちの方は特にご注意ください。

以上、よろしくご理解とご協力をお願い申し上げます。なお、保護者の皆様にはご不安も多いかと存じます。ご質問・ご不明な点は、ご遠慮なくいつでも園長までお尋ねください。

水痘(みずぼうそう)について(あくまでも参考です。詳細は医師にお尋ねください。)

●水痘(水ぼうそう)とは

水痘は、潜伏期は約13日～17日、空気感染や接触感染でうつります。感染力は比較的強いので、濃厚な接触があれば、70-90%程度は感染すると言われています。発疹の出る1～2日前からすべての発疹がかさぶたをかぶるまでが、感染期間といわれています。健康な子どもがかかっても比較的軽くすみますが、白血病の人や、ステロイドなどの免疫抑制剤をのんでる人、免疫不全がある人などがかかると重症になりやすい病気です。また大人の方の場合、肺炎や肝炎、脳炎などを合併して重症化することもあります。アトピー性皮膚炎の人は、水ぼうそうを掻きむしって、アトピーがひどくなることがありますし、健康な子どもでもまれに、脳炎などを引き起こし重症になることもあります。年齢的には、2-8歳くらいに多い。

●水痘(水ぼうそう)の症状

発熱 37-38度台の発熱が2～4日間続くことがおおい。

4人に1人くらいは、発熱がありません。

発疹 湿疹は、紅斑(赤いブツブツ)→丘疹(少し小さく盛りあがる)

→水疱(少し水を持ったような水ぶくれ)→痂皮(かさぶた)

というような経過をたどり、進行はきわめて早い。(数時間～3、4日)

また、体や手足、口の中、頭髪部位にも出来る。

●いつから登校・登園

発疹がすべてかさぶたをかぶるまで(おおよそ1週間前後)は、出席停止です。

●予防接種の効果

水痘のワクチンの予防効果は、約70～90%程度と考えられています。

逆に言えば、10～30%は、注射をしていても水ぼうそうにかかる可能性があります(もちろん軽くすむことが多いのですが)。